

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 図書館書庫改修工事費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

岐阜県図書館 管理調整係 電話番号：058-275-5111 (内 291)

E-mail：c21803@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 15,587 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	15,587	0	0	0	0	0	0	0	15,587
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

岐阜県図書館の運営方針「資料の収集・保存」「県内市町村図書館等への支援」に基づき、課題解決型の図書館を目指すとともに、市町村図書館との役割分担を明確にし、収集方針に沿って厳選した資料収集を行っている。

令和6年度には書庫収蔵量が限界に達する見込みであるため、閉架書庫の一部を集密書架に入れ替え、収蔵量を確保する必要がある。

(2) 事業内容

- ・令和3年度 実施設計
- ・令和4年度 既存書架の解体・撤去・廃棄、集密書架の設置、資料の分類仕分・搬出・保管・搬入・排架、倉庫等搬出先確保

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担 10/10

貴重資料の長期に渡る保全のため必要であり、県の中核図書館としての役割を担うため県負担は妥当である。

- (4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	15,587	設計費
合計	15,587	

決定額の考え方

収納スペースに不足が生じるのは令和6年度と推計され、令和3年度から事業実施する必要がないため計上を見送ります

4 参考事項

- (1) 各種計画での位置づけ
県有施設中長期保全計画

- (2) 後年度の財政負担

令和3年度：実施設計、令和4年度：工事ほか

令和4年度の工事費、搬出・搬入・保管・配架委託料等については、改めて令和4年度当初予算要求を行う。

- (3) 事業主体及びその妥当性

岐阜県図書館は年間約55万人に利用され、県民の課題解決や生涯学習を支える教育施設である。

資料保存センター機能を備えることが県の中核図書館としての重要な役割である。保存された資料は、県内図書館の共通財産として、原則として永久に保存し、相互利用される。県内図書館全体のサービスの振興ならびに将来に渡る県民の利用に供するためにも、資料の収蔵量を確保する必要がある。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
令和3年度に実施設計、令和4年度に、改修工事を完了し、収蔵力を確保することにより、今後35年間、資料の保存が可能である。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率

○指標を設定することができない場合の理由

図書館施設の整備であり、指標は設定できない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	<p>今後35年程度先の収蔵能力を備えることができる。 また、温湿度・光・ほこり等から貴重資料を守り、利用者からの閲覧申込に即対応できるようにするために必要である。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 書架数が多く、設置に多大な時間と経費を要する。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 令和4年度末までに、集密書架の設置を完了する。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	

